

はじめに

株式会社トップでは、『完全データ』を入稿していただく事で入稿から納品までの短納期を実現しております。
しかし、データに不備があった場合にはお客様にデータ修正の上、再度正しいデータを入稿いただく事となってしまいます。
二度手間をおかけしてしまうだけでなく、納期が伸びてしまう可能性さえあります。
お客様の要望に100%答える為に、データご入稿前の最終チェックリストとしてデータ入稿ガイドをご活用いただければと思います。

入稿データ作成規定

推奨ファイル形式



PDF/x1-a
PDF/x-4
アウトライン PDF
RIP 済 PDF



.eps 形式
(ver CS5 まで対応しています)

※イラストや写真などの張り込み画像データがある場合は、
必ず完成ファイルデータと同じ階層のフォルダに入れて下さい。
※InDesignやoffice系ソフトでの入稿に関しては、推奨しておりません。

仕上りの有効絵柄寸法

弊社「オフセット輪転機」での「有効絵柄寸法」は
下記表の通りになります。

サイズ	寸 法	サイズ	寸 法
D1	1070×780	B1	1070×750
D2	780×526	B2	750×526
D3	526×383	B3	526×366
D4	388×257	B4	368×256
D5	257×187		

用紙仕上がりサイズ

サイズ	寸 法	サイズ	寸 法
D2	813×546	B2	765×546
D3	546×406	B3	546×382
D4	406×273	B4	382×273
D5	273×203		

フォントについて

◇フォントは全て**アウトライン**を取って入稿して下さい。

ファイル名について

◇ファイル名に使用できる記号は下記の2種のみです。
使える記号 「_」(アンダーバー)、「-」(マイナス)
下記の特殊文字は使用しないで下さい。
使えない記号 「/」「>」「<」「?」「!」「:」「.」「~」「\」「*」「|」「」など

※日本語の場合は10文字以内にしてください。

データ入稿時の注意点

- オリジナルデータは必ず手元で保管して下さい。
- 張り込みデータも含め、必要なファイルの取りこぼしの無いよう確認の上、入稿して下さい。
- 不要なファイルは取り間違える可能性があるためファイル内に入れないで下さい。

張り込み画像データについて

- ◇アタリ用低解像度データでの入稿はできません。
- ◇入稿データとして「RGB」の画像データは正常に出力出来ません。必ず「CMYK」モードにした上、色味を確認して入稿して下さい。

透明効果について

- ◇透明効果を使用された場合の入稿データは、
ラスター化されたデータ or PDF/X-4 での入稿を
推奨しております。

※不要な分割線が出る恐れがありますのでご注意ください。

出力見本

- ◇確認がとれる出力見本は必ずデータに付けて下さい。
(PDF・jpg など出力見本については、入稿データの種類の
合わせて営業担当と事前にお打合せ下さい。)
- ◇FAX による出力見本は推奨しておりません。
その他確認方法につきましても、事前に営業担当と
お打合せ下さい。

オーバープリントに関して

- ◇オーバープリントの設定を行うと意図しない仕上がりになる場合がございますので、オーバープリントの設定は行わないようにお願いします。

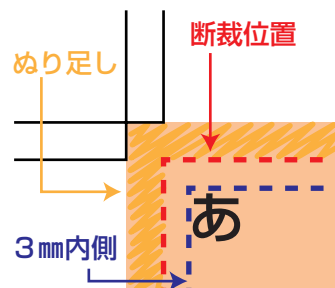
※オーバープリントの設定を活かしたい場合には
必ずその旨を担当営業にお伝え下さい。

断ち切り

裁ち切りデザイン（四方断裁）の場合は、
平アミ・画像に3mm分の『ゆり足し』をつけて下さい。
ゆり足しが無い場合、断裁時にズレが生じます。

また、切れてはいけない文字
などのデザインに関しては、
断裁位置から内側3mmに配置
して下さい。

断裁位置ギリギリのデザイン
ですと、切れてしまう可能性
があります。



株式会社トップでは、PDF/x1-a または PDF/x-4、アウトライン PDF、その他 RIP 済 PDF を推奨ファイルとさせていただいております。

確認点

1. 絵柄

◇絵柄はセンター合わせの設定で出力下さい。※図1参照

◇断ち切りデザイン（四方断裁）以外の場合は、トンボを付けずに PDF を出力下さい。

2. トンボ（輪転の場合必要ありません）

◇トンボを付ける場合は、用紙の仕上がりサイズ（基準表は別紙）で付けて下さい。

◇用紙の仕上がりサイズ内に、不要なオブジェクトがある場合、版出力時に削除されない恐れがあります。

◇余白の左右には情報類の配置を避けて下さい。※図2参照

3. オーバープリントに関して

◇オーバープリントの設定を行うと意図しない仕上がりになる場合がございますので、オーバープリントの設定は行わないようにお願いします。

※オーバープリントの設定を活かしたい場合には、必ずその旨を担当営業にお伝え下さい。

4. ペラ物の表裏データに関して

◇必ず表裏を別のデータで入稿して下さい

図 1

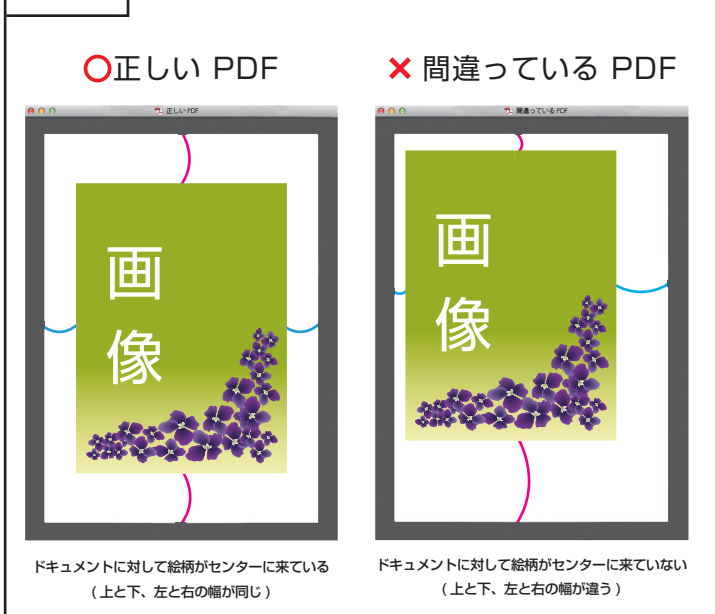
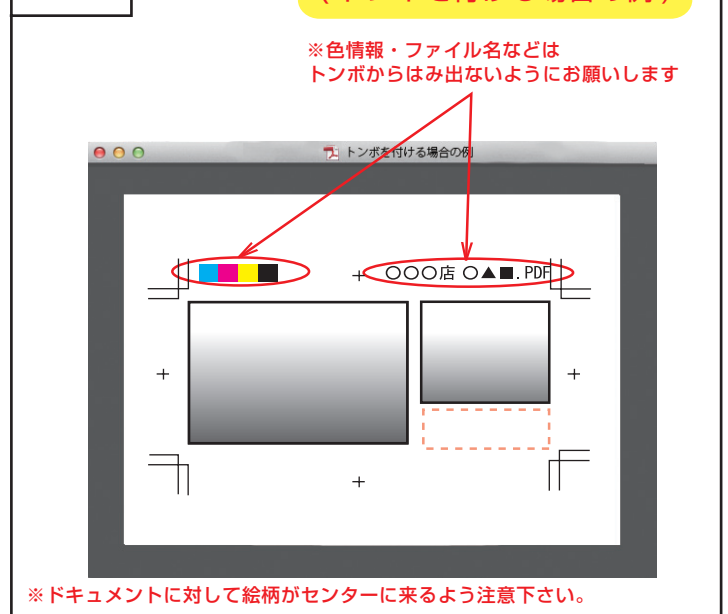


図 2



PDF/X-1a

◇CMYK（+ 特色）のみをサポートしています。
フォントや画像もすべて埋め込みますので、出力側でのトラブルが軽減されることが期待され PDF/X-1a の普及が進んでいます。

- PDF 1.3 互換形式で作成する
- カラーマネジメントを行わない
(ICC プロファイルを埋め込まない)
- カラーモードは CMYK（+ 特色）に限る
- 透明効果は使用できない ※分割線がでてくる
- 使用しているフォントをすべて埋め込む
- 使用している画像はすべて実画像（出力用の画像）として埋め込む
- トラッピング、出力インテント、および仕上がりサイズやアートサイズを指定する
- トランスファ関数やハーフトーンのスクリーン線数を使用できない

PDF/X-4

◇PDF/X-4 の大きな特徴は、透明効果を使用した PDF に対応していることです。

◇透明効果を使用できない PDF/X-1a や PDF/X-3 では、透明部分は CMYK に分割された状態となっているため、こうした機能を利用できません。

◇PDF/X-4 では、PDF/X-1a や PDF/X-3 でサポートしているものに加え、以下の点が異なります。

- 仕様
- PDF 1.6 互換形式で作成する
 - 透明効果とレイヤー効果を使用できる

※PDF/X-4 データには RGB 使用部分がないかの確認を入念にお願いします

アタリ用

レイアウトやデザインの時、低解像度の画像を貼り込んで位置の指定やサイズ、切り抜き指示等確かめるもの。

オーバープリント

異なる色（インク）が隣り合う境界に、お互いの色が混じり合った領域を作り版ズレを防ぐ設定

ICC プロファイル

各デバイス間での色表示を合わせるために使われる、色を変換するためのテーブルが記述されたファイルである。ICC（国際カラーコンソーシアム）が仕様を公開している。（色を勝手に調整してしまう）

トラッピング

境界線だけで処理を行う設定。大きなオブジェクトなどの処理には適してるが、細かい文字など小さなオブジェクトには向かない。

出力インテント

使用する印刷機、インク、用紙のタイプなどそのファイルを使用して行う印刷の条件を指定したもの。

トランスファ関数

データの値はそのままに、出力時にデータの値を変更させる機能。トランスファ関数が作成時のカラーと出力時のカラーが異なって出力される場合があり、意図したイメージと異なってしまう。RIP の設定によってトランスファ関数の扱われ方も異なるので、「トランスファ関数を含める」のチェックを入れないで保存する。（Photoshop）

スクリーン線数

印刷の精度を表す尺度で線数ともいう。単位は lpi（line per innch）で、1 インチ（約 25.4mm）を基準単位としてその中に 1 列状（線状）に並んだ網点は何個あるかを表す。

用紙、機械の精度、印刷物の用途や目的によって選択される。新聞（更紙）は 65～100 線、雑誌（上質・コート・アート紙）は 133～175 線、TOP のチラシは 175 線となっている。

ラスタライズ

点と線、あるいは文字と画像などからなるイメージデータを、色つきの点（ドット）の集合であるラスタイメージに変換することである。（1 つの画像にしてしまう）